

沢田小学校 「防犯教室」を再開

7月13日(木)

自分の身は自分で守れるようにと、7月13日(木)沢田小学校体育館で、コロナ禍で中断していた「防犯教室」が実施されました。

沼津警察署生活安全課、金岡交番、金岡地区安全推進委員、金岡コミュニティ地域安全部が共同で、沢田小1年生・2年生・3年生を対象に知らない人に声をかけられた際の対応の仕方の指導がありました。

生徒たちは「い・か・の・お・す・し」の合言葉で、知らない人についていけない、車にのらない、おおきな声を出してすぐに逃げてしらせる。また車から声をかけられたら「助けて！」と叫んで、防犯ブザー

を鳴らし、車の後方に逃げることを学びました。



交通安全部 夏の交通安全を街宣活動

7月16日(日)

金岡コミュニティ交通安全部(望月信博部長)は、夏の交通安全県民運動期間中の7月16日(日)江原町の国道1号で金岡交通安全会、金岡交番と共同して交通安全の街頭広報を実施しました。

金岡交番の望月巡査は、静岡県内の交通事故は減少傾向に

あるが、沼津市の交通死亡事故は県下ワースト1で、先日も信号機のある西沢田交差点で死亡事故が発生していて、引き続き交通安全が求められますと話していました。

なお交通安全県民運動期間中に沼津市の国道1号で2件の死亡事故(西沢町と江原町

の交差点で、いずれも金岡地区)が発生しています。特に夜間の国道1号の横断は信号が青になってもすぐには出ず、

車輛の停止を確認してから横断するよう細心の注意が必要です。



体育振興部中部 輪投げ大会を開催

7月9日(日)

金岡コミュニティ体育振興部中部(小田島重徳部長)は7月9日(日)9時より金岡小学校体育館で輪投げ大会を開催しました。

各自治会よりエントリーした約140人の参加者は、9

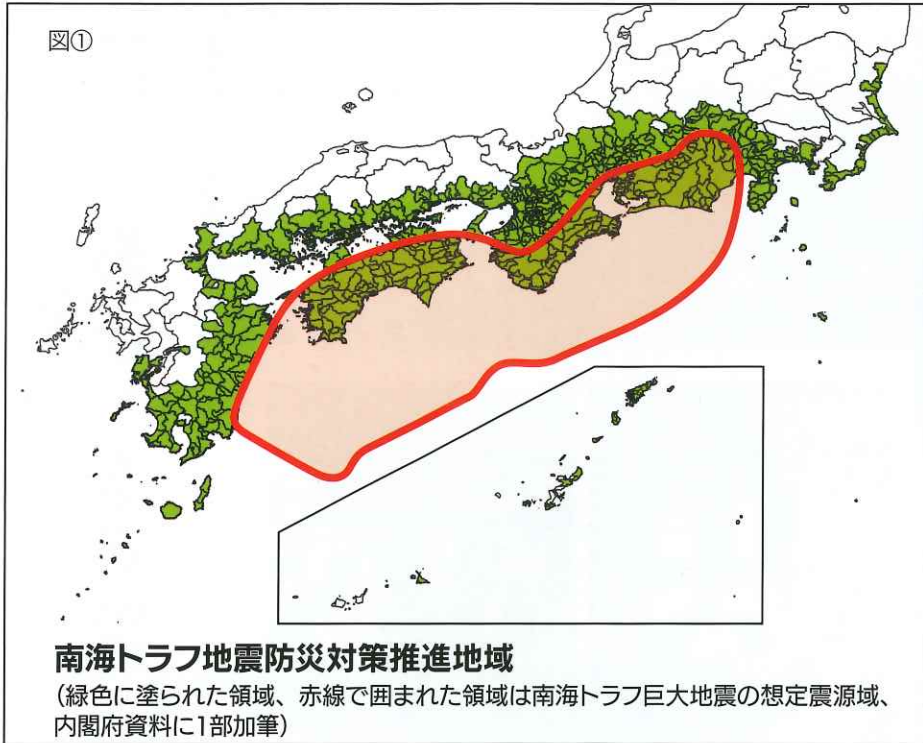
つの輪を3回投げて、その合計点で競い合い楽しい時間を過ごしました。結果は豊町の小学6年生の中村朋弘さんが優勝しました。体育振興部の役員の皆さんお疲れ様でした。



優勝した中村朋弘さん

もしもの時に備えよう / **防災対策**

**関東大震災（1923年9月1日）から百年の節目の年
この機会に防災対策を見直しましょう**



9月1日は『防災の日』です。また9月1日から1週間を『防災週間』と定めています。沿津市では毎年9月の第一日曜日に総合防災訓練を実施しています。

今年、防災の日の由来となった関東大震災（1923年9月1日）から百年の節目の年です。この機会に防災対策を見直しましょう。

金岡コミュニティ自主防災部は、南海トラフ地震対応の

マニュアル見直し、防災訓練を行っています。

金岡地区は南海トラフ地震防災対策推進地域に入っており、南海トラフ巨大地震の想定震源地に極めて近い位置にあります。(図1)

金岡地区に想定されている地震の震度は6弱です。推定津波浸水域は東海道本線の南側までなので、地震の揺れに対しての対策を主に考えていきます。

過去の地震を見ると、人は地震の揺れによって死ぬことはありません。家具の転倒、家屋の崩壊等による圧迫や、その後の火災や津波により亡くなれています。

津波の恐れが少ない金岡地区では、家具の転倒、家屋の崩壊・火災を防ぐことができます。死亡者数は0は可能です。家族で待ち合わせ場所を決めておきましょうと言われていますが、最初の待ち合わせ場所は自宅です。災害が起きても普段と変わらない生活ができることが一番良いことです。

しかし、ライフラインが寸断されている状況では普段通りとは行きません。それでも、家で生活できれば、避難所生活よりは遥かに快適です。災害が起きても家に留まることのできる対策をしましょう。

自分や家族を守るために家具の固定、家の出入口近くの一室だけでも良いので耐震補強をお願いします。非常食や飲料の量は、一週間分が目安



ですが巨大地震の場合、救援物資到着が遅れる可能性が高いです。家での避難生活を想定し、普段の生活に非常食を取り入れ、食べたらずいだし、常に新しい非常食を備蓄するローリングストックを試してみるのも良いでしょう。

災害時に家から離れる際は、電気のブレーカーを落とすことやガスの元栓を閉めることも、火災を出さないために必要です。

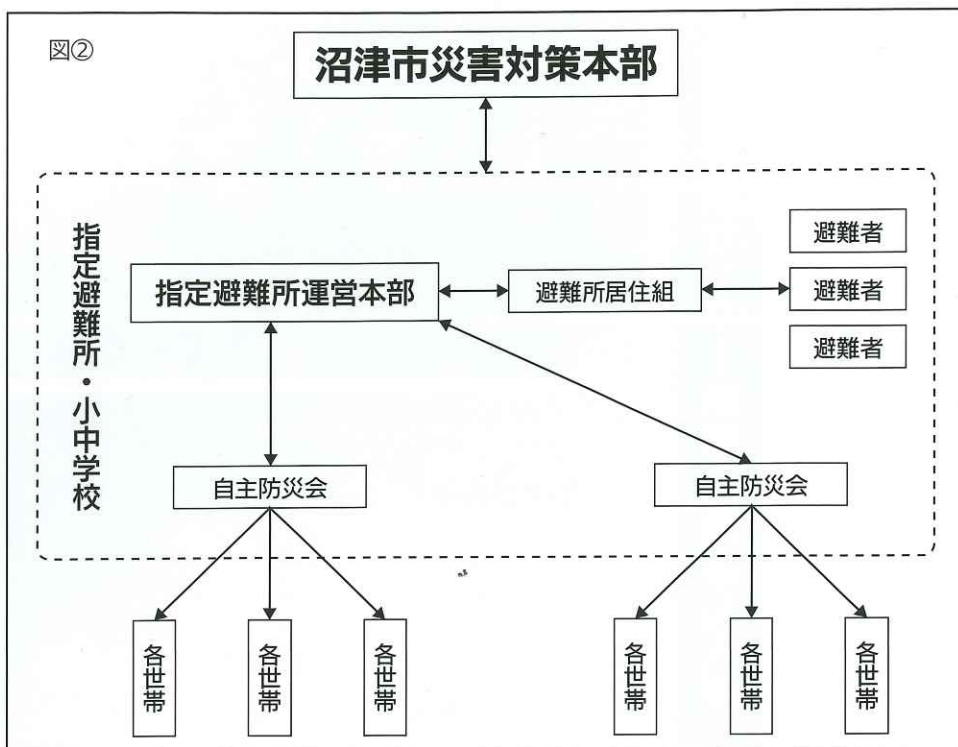
家族と連絡が取れないのは不安なものです。事前に家族で連絡方法について話し合っておきましょう。NTTの『災害用伝言ダイヤル』の使用方法を確認したりしておくことも安心です。

金岡地区では、土砂災害が想定される愛鷹山の一部地域を除いて事前に避難する必要はありません。家屋の崩壊・火災等で家に住めなくなり、隣近所の間借りも出来なく、住むところが確保できない人を収容する所が金岡の指定避難所です。金岡地区指定避難



は、収容避難場所機能と、多くの在宅避難者に市からの配給物資を届けたり、要望を市に伝えたりする防災本部機能です。(図②)

今年9月3日の防災訓練では、その時、町内にいる人を把握するための名簿作成訓練を行いました。これは、南海トラフ地震発災時、在宅避難者に市からの配給物資を確実に届けるために必要な訓練で



飯に町内の自宅避難者80世帯200人に140食の弁当が配布されたとします。あなたならどうしますか。(資料①)

沼津市では、防災隣組を推奨しています。皆さんの自治会はいくつかに班(組)に分かれておられると思います。その班を隣り合う3〜5軒づつ纏めて災害に備える組織が防災隣組です。地震発災時先ずは防災隣組で安否確認、人命救助、人数把握をします。家具の下敷きになつておられる方をそのまま助け出せるのは2時間以内です。いち早く行動するには隣同士の協力が重要です。隣組で把握した人数、被害状況を班でまとめ、班の人数、

状況を自治会でまとめることにより、現状をいち早く把握することが出来ます。また、少ない弁当も、4世帯十人に7個なら、集まって分けあいながら一緒に食べることも可能です。

このような環境を南海トラフ地震前に構築しなければなりません。

自主防災部は、京都大学名誉教授鎌田浩毅氏の意見を基に、南海トラフ地震を2035年±5年と想定して訓練の実施、マニュアルの見直しを計画しています。この後すぐ地震が起こるかもしれませんが、南海トラフ地震に備える計画期間は7年です。

南海トラフ地震のようなプレート型地震の前40年〜50年は内陸部の活断層型地震が頻発すると言われています。その始まりが1995年1月17日の阪神淡路大震災だと考えています。これからも頻繁に地震が起きます。

沼津市防災アドバイザー山村武彦さんが、「命を守る行動選択訓練」(資料②)を発表しています。小さな揺れの気配を感じたら、この訓練を実施してみてください。その内のひとつが本番になります。いっしょに金岡地区での南海トラフ地震死亡者数0を目指しましょう。

〈自主防災部長：持田 忍〉

あなたは大規模地震が発生したとき、どのような行動をとりますか。つぎの質問にお答えください。

- ①あなたは家族で、大規模地震が発生したときの集合場所を決めていますか
- ②あなたは家族と指定避難所の体育館内にいます。持ってきた非常持ち出し袋に水食料が3日分あります。避難所には水食料を持参していない家族が多数、空腹に耐えています。持ってきた非常持ち出し袋をこの場で食べますか?
- ③あなたは指定避難所の体育館内にいます。毛布が不足しています。折よくTVニュース番組の取材が来ました。テレビを通じて毛布提供を呼びかけますか。
- ④あなたは町内の炊事給水班です。町内の在宅避難者80世帯200人に140食の食料が沼津市から配布されました。今後の配布見通しは未定。今、140食を配りますか?
- ⑤あなたは大規模地震後、子どもの迎えに小学校へ向かっています。途中、隣のおばあさんがタンスの下敷きになっているので一緒に助けようと二軒先のご主人に呼び止められました。しかし、我が子も気になります。まず目の前のおばあさんを助けますか。

資料①

命を守る行動選択訓練

★その時の場所、状況によって退避判断・行動は異なる

- ①安全ゾーンの設定 (転倒落下物の少ない、閉じ込められない)
(1階なら玄関。2階なら1階へ降りない。窓ガラスには飛散防止シート。)
- ②小さな揺れの気配、緊急地震速報→安全ゾーンへ退避
(待たずに即行動。避難路の確保。)
- ③倒壊の恐れがある古い木造住宅→外部の安全ゾーンへ移動
(瓦、ガラス、看板等が落ちてこない場所。)
- ④安全なマンションやビル→ビル内の安全ゾーンへ移動
(最近安全ゾーン(Sゾーン)の表示が増えてきている。)
- ⑤外にいたら→建物から離れる。無理なら安全そうなビルに入る
(ガラス、看板等が落ちてくる前に避難。)
- ⑥海岸、河川流域にいたら→津波報を待たず、念のため避難
(津波はすぐに河川を上ってくる。)

資料②

金岡地区センターの事務員さん1名退職につき新事務員さんを募集していましたが、7月より杉崎恵子さんが入所し、元の3人体制になりました。深田かつ子さん、三田裕子さんと併せてよろしく願います。

金岡地区センター新事務員さん入所



沼津奇術研究会に講師を依頼し、8月20日(日)金岡地区センターで開催しました。参加者は金岡小学校・沢田小学校の児童など45名。



講師によるマジックに歓声をあげ大盛況でした。マジック実演後には教材を使って、子ども達もマジックに挑戦しました。

青少年育成部
夏休み体験教室
「マジックにチャレンジしよう!」
8月20日(日)

第17回 金岡コミュニティ祭り

令和5年10月28日(土)・29日(日)

金岡地区センター
開会式 10月28日 8:45

10/28(土)

金岡中学校吹奏楽部
富士通沼津吹奏楽団
ジョイントコンサート

開場 13:15 開演 14:00 会場 金小体育館

※体育館への入場券は10月16日(日)まで配布予定です。コンサート開演前に「沼津市わたしの主張大会」金中代表の青木智子さん(8年)の発表があります。

おもしろ自転車
会場 金小グラウンド

交通安全教室
消防車展示
パトカー展示
会場 金小グラウンド

防災展示・地震体験車
会場 地区センター玄関前

28日(土) 9:00~

10/29(日)

飛龍太鼓
開場 8:40 開演 9:00 会場 金小体育館

森一馬・太田克樹
歌謡ショー

開場 10:45 開演 11:00 会場 金小体育館

バルーンアーティスト 陸
バルーンショー
開場 10:30~ 会場 金小グラウンド

同時開催 第22回 文化展

28日(土) 9:00~18:00
29日(日) 9:00~14:00

売店・緑日もあるよ!
シャトルバスも運行!!
ご家族でお出かけください!

詳しい情報はチラシをご覧ください

※新型コロナウイルス感染防止対策でお出かけください。当日体調不良の方はご遠慮をお願いします。※雨天の場合、屋外イベントは中止、売店・文化展・体育館でのイベントは実施します。

顧問
いしわた しんいち
石渡 慎一

中部連合副会長
江原町自治会長
すずき いさお
鈴木 功

訂正とお詫び

令和5年度金岡地区連合自治会役員紹介で誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。正しくは左記の通りです。

お知らせ 絵物語 **ぬまづ昔ばなし**

11月25日発行予定の第六巻は金岡地区のお話です
「大中寺の六地藏」を絵物語にし、ゆかりの場所や地域の情報満載の本を制作中です。金岡の皆さんで昔の写真や昔の金岡のお話をご存知の方がございましたら教えてください。下記のメール・ホームページもしくは編集長 渡邊 (090-8488-6148) までご連絡ください。

郷土の記憶を未来へつなぐ **e-monogatari** (えものがたり)

〒410-0048 静岡県沼津市新宿町15-5
info@e-monogatari.art
https://e-monogatari.art